

教育・保育理念		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>・青垣の自然豊かな恵みを五感で感じ、感謝する心、地域を愛する心を育みます。</p> <p>・子ども一人ひとりの人格を認め、心も体も健やかでたくましい子どもの育成に努めます。</p> </div>					慈愛	・真心こもった教育及び保育の充実に努めます。
		信愛	・保護者と園の信頼関係の上に立った安心・安全な子育てに取り組みます。					
教育・保育目標		<p>○基本的な生活習慣の定着を図り、集団における望ましい態度や能力を育てる。</p> <p>○心豊かでたくましい子を育み、生きる力の基礎を培う。</p> <p>○自ら物事に取り組もうとする意欲や態度を養う。</p> <p>○身近な人や自然などとのふれあいを通し、情操豊かな心を育てる。</p>					子どもめざす	<p>○最後までやりぬく子</p> <p>○自然を愛し生命を大切にする子</p> <p>○仲良く遊び思いやりのある子</p> <p>○話をしっかりと聞ける子</p> <p>○よく遊び自分の思いをのびのびと表現できる子</p> <p>○食べ物に感謝の気持ちを持つ子</p>
		年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
テーマ		愛情に包まれ安心感や信頼が芽生える	見る聞くさわるの世界が広がる	興味津々、なんでも自分でやってみたい	見て、まねて友だちと一緒に遊ぶ	感性が豊かになり、心も身体も育ちあう	知的好奇心が高まり、友だちと協同して意欲的に活動する	
養護	生命の保持	保健的で安全・安心な環境を整え、一人ひとりの生活リズムの形成や生理的欲求を十分に満たす。	保健的で安全・安心な環境を整え、一人ひとりが快適な生活が送れるように生理的欲求の充実と安定を図る。	保健的で安全・安心な環境を整え、自我の育ちを受け止めながら健康で快適な生活の充実を図る。	基本的生活習慣の自立を促し一人ひとりに応じた適切な援助をする。	自分の健康管理に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする。	基本的生活習慣の確立と、更なる健康増進を図り、子どもの意欲を高める。	
	情緒の安定	特定の大人と応答的な関わりにより情緒的な絆を深める。	身近な大人との関わりの中で信頼関係を深めながら情緒の安定を図る。	自己主張や探索欲求を受け入れ、共感することにより、信頼関係を築く。	一人ひとりの自我を大切にし、主体的で意欲的な活動を促す。	互いに認め合い、信頼される関わりを育みながら、自己肯定感や自信を育てる。	心身の癒しや活動内容のバランスと調和を図り、社会性や自立心を養う。	
子どもの姿	健やかに伸び伸びと育つ	<p>ぐくぐく飲んでぐっすり眠る</p> <p>生活リズムが大切にされることで、生理的欲求、依存的欲求が満たされ、生命の保持と生活の安定を図る。清潔で気持ちの良い生活が送れるようにする。</p> <p>抱っこ大好き</p> <p>抱っこでにっこりと見つめ合い、優しく話しかけられてもらったりなど、特定の保育教諭との愛情豊かで応答的な関わりにより、情緒の安定を図る。</p> <p>手足ぐんぐん・のびのび</p> <p>首が座り、寝返り、腹ばい、ハイハイ、つたい歩きなど、全身の動きが活発になり、自分の意思で身体を動かそうとする。</p>	<p>ひとりで歩けたよ！</p> <p>一人立ち、歩行へと移り体全体を動かし、移動を楽しむ。視野が広がり、好奇心が旺盛になる。</p> <p>よく食べ、よく眠る</p> <p>楽しい雰囲気の中で、食事、おやつを食べ、自分で食事をしようとする。安全で健康な環境の中、生活リズムを大切に、安心して睡眠をとる。</p> <p>自分で、自分で</p> <p>安心できる保育教諭との関係の下、食事、排泄、衣服の着脱などの身の回りのことを自分でしようとし、「自分にもできる」という気持ちが芽生える。</p> <p>一緒にいて安心</p> <p>親しい大人、安心できる人と一緒にいたいと思い、人見知りもするようになる。親しい大人を確かめながら、探索する。</p> <p>登りたい、滑りたい</p> <p>段差を登ったり、すべり台を滑ったりすることを楽しむなど、自分からいろいろな環境にかかわろうとする。</p>	<p>いっぱい走りたい！</p> <p>歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能が整い始め、体を自分の思うように動かすことができるようになる。速い・遅い・強い・弱いなどの動きもできるようになってくる。</p> <p>よいしょ ころしょ楽しいね！</p> <p>またぐ・くぐる・よじ登る・押すなど、全身を使う動きや、つまむ・丸める・めくるなどの手や指を使うことができるようになり、それを遊びとして楽しむようになる。</p> <p>なんでも「じぶんで」するの</p> <p>「じぶんで」と、よく言うようになり、大人に手助けされながら、食事・排泄・着替えなど、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</p> <p>イヤ イヤ</p> <p>なんでも意欲的にやろうとするが、うまくいかないときは、かんしゃくを起したり「イヤ」と自己主張をしたりする。保育教諭との関係を中心にするのではなく、一人で行動しようとし、自我がはっきりしてくる。</p> <p>いろんなものとかかわりたい</p> <p>行動範囲が広がり、友だちとの関わりを少しずつ求めるようになる。興味を持つものがあると、ますます探求心を発揮する。</p> <p>「なんで？」</p> <p>挨拶や返事など、生活に必要な言葉や「なんで？」などの質問が盛んになる。また、繰り返しの言葉を楽しんで使うようになる。</p> <p>何でも言えるよ</p> <p>自分のしたいこと、してほしいことを言葉で表現できるようになったり、「おはよう」「いただきます」などの簡単な日常の挨拶をしたりする。</p> <p>まねっこ、大好き</p> <p>周りの人の行動に興味を示し、盛んにまねたり、歌ったりするようになる。○○になったつもり遊び・見立てる遊びが盛んになる。</p>	<p>全身を使うって 楽しいね！</p> <p>土踏まずが形成され、たくさん歩いたり走ったりできるようになる。また、右足だけで立つなど、左右別々の行動ができて始める。</p> <p>見て見て自分で・・・</p> <p>食事、排泄、衣服の脱ぎ着、清潔など、基本的生活習慣がほぼ自分でできるようになり、認めてもらって自信を持ち始める。</p> <p>そばにいてだけで楽しい</p> <p>子ども同士の関わりを楽しんだり、みんなのそばにいて同じことをして喜んだりする。保育教諭に見守られている安心感が基盤となる。</p> <p>友達大好き</p> <p>自我が芽生え、大人との関係から次第に周りの人のことが分かるようになって、友達に興味をもち始め気の合う友だちと遊びだす。</p> <p>みんなと「オンナジ」がおもしろい</p> <p>友達とイメージを共有して同じ遊びをするようになり、仲間意識が高まる。みんなと「同じ」がうれしく、一緒に遊ぶ中で少しずつ、分け合ったり順番を守ったりすることができるようになる。</p> <p>何でも触って・・・</p> <p>水、砂、土などの自然物や、身近な動物、昆虫などに関心をもち、怖がらずに見たり、触れたりして、好奇心旺盛に遊ぶ。</p> <p>おしゃべり大好き</p> <p>自分の思いを言葉にできることを楽しむ姿がみられ、「だって・・・」と理由を主張することもできるようになる。</p> <p>「わたし」「あなた」</p> <p>イメージが豊かになり、ごっこ遊びを好み、言葉によるやり取りを楽しむ中で「私」などの一人称や「あなた」などの二人称を使えるようになって喜んで遊ぶ。</p> <p>ウサギさん、ぴょーん</p> <p>うさぎになって2拍子で跳んだり、ギャロップでウマになったり、リズムを聞き分けて身体で表現したり、盛んに歌うようになる。スキップに挑戦し始める子どももいる。</p>	<p>何でも一人でするよ</p> <p>身の回りの始末はほとんど自分でできるようになり、生活の流れに見通しが持てるようになる。</p> <p>こんなに動けるよ</p> <p>全身のバランスが取れて、体の動きが巧みになり、「～しながら～する」という二つの動きを同時にでき、片足跳びやスキップができるようになる。</p> <p>仲間と一緒に楽しい</p> <p>自意識がしっかりし、自分と他人の区別もはっきりしてくる。人や物をじっくり見たり、強い関心をもって関わり活動が広がり、仲間と一緒にいることを楽しみ仲間との関わり方、遊び方を体得していく。</p> <p>どうぞ、いいよ・・・</p> <p>友達の思いに気付き「～だけど～する」という自分の気持ちを押しさえて我慢したり、譲ったりができるようになってくる反面、抑えがきかずトラブルも起きる。</p> <p>やってみたい！</p> <p>新しい活動にも取り組めるようになり、試す・工夫する・頑張ろうとするなどの気持ちが見られるようになる。</p> <p>生き物や植物にも心があるよ</p> <p>鳥や虫、花にも目には見えないけど、心があると思い、子どもらしい空想力や想像力を広げていく。そのため、お化けや夢、暗闇に恐れも強くなる。</p> <p>「どうして？」</p> <p>身近な自然など、興味を持ったこと、疑問に思ったことの原因を尋ねたり、試したり、質問をしたりするようになり、自分のイメージをもって話すようになる。</p> <p>言葉で何でも伝えたい</p> <p>周りの様々なことに関心が高まり、他人の判断や行動と自分の考えとの相違に気付き、盛んに保育教諭に伝える。言葉に出して、伝えることが満足で、聞いてもらうことで安心感を味わう。</p> <p>こんなのできたよ</p> <p>自分なりのイメージをもって、身近な素材を使って描いたり作ったりするようになり、感じたこと、考えたことを表せるようになる。</p> <p>できない！教えて！</p> <p>どうしてもできないことは「教えて」と自分の思いを言葉で表現する。保育教諭のやることをじっと見て学んでいき、やがて保育教諭がしたような方法で物や人との関わりを表していく。</p>	<p>園が楽しい！</p> <p>基本的生活習慣が自立し、見通しをもって自ら健康で安全な生活（食事を含む）を楽しむようになる。年長児として、年下の子どもをいたわるようになる。</p> <p>動いて、元気！先生より跳べるよ</p> <p>目と手と体の全ての部位が自由に動かせるようになり、複合応用運動ができるようになる。</p> <p>みんなと一緒に！</p> <p>友達同士の仲間意識ができ、集団を意識するとともに友だちの良さに気付き、規範意識が高まり、決まりや時間配分を作り、園生活を自主的に送ろうとする。</p> <p>そうだそうだわかるよ</p> <p>友達の気持ちや立場が理解でき、他者から見た自分もわかるようになり、葛藤しながら共感性が高まり、協同しつつ共通の目的に向かう姿が見られる。</p> <p>なにかおもしろそうだな</p> <p>日常生活の中で、数量、図形、記号、文字、磁石などへの理解が深まり、比べたり、数えたり、科学遊びをしたりして興味を持って関わる。</p> <p>みんな命があるんだね</p> <p>動植物の飼育栽培など、様々な環境に関わる中で、友達の違う考えにふれて新しい考えを生み出したり、命の大切さが分かったりするようになる。</p> <p>黙って考えてるの</p> <p>独り言が少なくなり、自分の行為、計画を頭の中で思考するようになり、言葉で自分をコントロールし、落ち着いて人の話が聞けるようになる。</p> <p>言葉遊びができるよ</p> <p>語彙が増え、想像力が豊かになるとともに日本語の仕組みに気付き、しりとり遊びや逆さ言葉で遊んだり、伝える喜びを感じたりするようになる。</p> <p>自分で作ったよ</p> <p>生活の中での感動によりイメージを膨らませたり、友達の表現にふれたりして自己表現しようとするようになる。</p> <p>みんなで作ったよ</p> <p>友達と共通のイメージや目的意識をもって、素材や用具を適切に使い、協同で様々な表現をするようになる。</p>	
	人間関係	環境	言葉	表現	心と体 健康な 協同性 自立心 道徳性 規範意識 社会生活との関わり 芽生え 思考力の 自然との関わり 数量・図形・文字等への 言葉による 伝え合い 表現 豊かな感性と			
身近な人と気持ちが通じ合う								
身近なものに関わり感性が育つ								

